

ゴールは弥彦山山頂(正確には、弥彦山スカイライン山頂駐車場)。弥彦山はそれ程標高は高くないが、海岸線のすぐ近くにそびえており、ここからの佐渡を含む日本海の眺めは絶景である。特に夕日の美しさは有名で、試走時も夕刻が近づくほど人が増えて来た。勿論若いグループやカップルがメインで、オジサン1人の私は夕日を見る前に退散した(笑)

ゴールの前は有名な魚市場。すごい人出だった。焼きイカを食べながら見て回るだけでも楽しい。われわれもあれもこれもと、ついつい買い過ぎてしまった。トランクいっぱい魚を積んで、しあわせな気分でご帰りに乗った。

PDQMでは、寺泊の魚市場前がゴールだったが、チョット待った!(笑) 第26回PDQMのタイトルは何か? 『日本海・弥彦米山』じゃないのか? 「日本海」と「米山」は見たが、「弥彦」は見えていないじゃないのか?(笑) という訳で、更に先に進むことにする。多分、尾針さんたちは途中の悪路で時間が掛かり、更に魚市場でゆっくりし過ぎたために時間が無くなったのだろう(笑)

佐渡と青い海と空を眺めながら、海岸線の国道402号を走る。23図から旧道に入るが、PDQMの当時はこれが国道だったのだろう。

出雲崎は良寛ゆかりの古い町で、歴史の名残りを街角で見かける。海と山にはさまれた細長い街並みは、同じような構えの家がどこまでも続く、印象的な町だ。(細長い街並みと特徴ある家並みは今も残っている)

第26回PDQMでは、寺泊まで長い海岸線を走る。とコース案内されているが、今回はここから山の方へ回ることになる。PDQMでは見学出来なかった場所にも立ち寄る事にする。

柏崎刈羽原子力発電所はスケールが大きすぎ、その全容は外からうかがい知ることはできない。しかし隣接する東電サービスホールでその情報を知ることができる。入り口にチェルノブイリ原子力発電所事故のパネルが置いてあり、安全性についていかにシビアになっているかを感じることができた。(今は、福島原発の状況と、柏崎刈羽原発の「津波」に対する取組みに関する展示とパネルがある)

柏崎市内をさけて、山の方を回り、西山町の田中元首相のお屋敷を見学して・・・と思ったが、距離ばかり延びても、めぼしいものがなくてはと思い、やむなく大幅にカット。海岸線を北上することにした。(柏崎刈羽原発まで、PDQMと同じルートを走る。信号は多いが流れは良い。)

鯨波は海水浴場のほか何もないが、実物大(?)の鯨が国道沿いに出現して、鯨波の存在感を主張している。(実物大の鯨は綺麗に化粧直しされまだ残っている。今でも海水浴シーズンになると、この辺りは賑わうのだろうか?)

米山大橋の下から国道に出ると、ちかごろ話題の大壁画で有名な日本海鮮魚センターがある。また雑学コレクションの"とんちん館"などもあり、チョイとしたレジャー基地という感じだ。(日本海鮮魚センターの壁画もかなり色あせているように思う。"とんちん館"は既に無く、道の駅「風の丘米山」も何処が道の駅?という雰囲気、鮮魚センター以外は完全に寂れている。)

ダートが終わって少し行くと、北陸自動車道の高い橋が目に入る。その先に青い海を風景にした真っ赤な高い橋脚の米山大橋が現れる。このすばらしい眺めは国道を走っていると、気づかずに過ぎてしまう。(PDQMでは米山大橋の下を通り、国道に出てしまうが、今回は某TVドラマのロケにも使われた「青海川駅」に立ち寄る。ホームから見る日本海は、夕日の時間でなくても綺麗で、狭いダートを走って来た疲れが吹き飛ぶ。)

終着駅の弥彦駅の線路の末端際を通り、越後の一の宮=弥彦神社に向かう。弥彦神社は、初めて訪れた。参道は木々が茂り、拝殿、本殿の周りにも変な看板などが全くなく、厳かな雰囲気がある。クイズのネタが無くて困った!(笑) ただ、私自身がイメージしていたよりこじんまりしていたが、駐車場から拝殿までの距離がそんなに長くなって助かった(笑)

寺泊水族博物館は、こじんまりとしているが、見ごたえがあっていいところだ。ウーパールーパーがひっそりとした。(ウーパールーパーは今もいるようだ。当時よりさらに地味な存在になっているだろうな・・・)

通称西山林道(複数の林道がつながっているようだ)を走る。物見山までは結構きつい上り、草が茂った上にカーブミラーもなく走りにくい。物見山を過ぎると軽いアップダウンを繰り返す。道幅も広くなり走りやすくなる。所々視界も開け、左手は日本海、右手は長岡の市街地や信濃川も望める。当時は、ダートだったし、尾針さんも走りたかったのでは?(笑)

スタートは、小千谷IC。第26回PDQMでは、路上がスタートラインだが、当時は国道291号線の桜町トンネルが未開通で通行量が少なかったのだろう。流石に、今は許されないので、脇道に置いた。トイレなど無いので、予め済ませておいてください。

芝ノ又から八王子へ出てタイトコーナーの続く峠を越えようとしたら、工事で通行止めになっていた。残念ながら、今回はキャンセルする。しかし、子抱き石仏が素敵だったので、問題Aを設定しておいた。(今回は、工事もなく通過できた。八王子の村に抜ける小さな峠には、立派なトンネルが出来ていた。勿論旧道を通る。また、子抱き石仏はかなり風化(痛み?)が進んでいる様である。)

『小国峠』小国峠へ上る県道は狭い。ガードレールもなく、そのうちにダートになった。これは厳しすぎるかなと思ったが、すぐに舗装になってホッとする。しかし、あいかわらず狭いので、慎重にドライブする。(ODまでは片側1車線の良い道になっている。ODの先は当時のまま狭いが、流石にダートは残っていなかった。)

まだ雪に覆われている米山の姿が美しい。その米山の裾を通る県道に入る。これがまた狭いダートで、まるで農道だ。県の土木事務所で調べてもらったら、ジープなら通れるとのことだったが、われらが恵子さんは超安全運転で下を打たずに通過した。(遊遊RDの写真の説明にも『まだダートが残っているかどうか』とある・・・それから20年、相変わらず道幅は狭い。流石にダートは残っていないだろうと高をくくって先に進むと、何と!残っていましたダート!900m弱と僅かだが、ダートがあります。)

### shixpoDR#16 Course Layout

小さな黒数字はコマ番番号です。  
※クイズの位置はおよその位置です。

説明文は、PDQMの説明文を引用しています。現状と違う場合は補足しています。( )内。

PDQMには無かった説明文は、灰色で示しています。

